

2021年9月9日

お得意様各位

トレーディア株式会社
営業戦略本部長
増田 裕人

京浜地区で拠点駅の追加認可を取得

トレーディア株式会社（本社、神戸市中央区 代表取締役社長 古郡勝英）は、2019年12月に取得した阪神地区の貨物駅を拠点駅とする貨物利用運送事業の第二種（鉄道）の認可、2020年1月に取得した関門・九州北部地区の拠点駅追加認可に加え、今般新たに2021年8月18日付で京浜地区において拠点駅追加認可を取得致しました。同時に、京浜港から東北方面に海上コンテナを鉄道輸送するサービスを開始いたします。

今回新たに認可を取得した京浜地区の拠点駅を利用して提供を開始する海上コンテナ鉄道輸送サービスは、安定目づ確実に海上コンテナ輸送を提供する手段として、海上コンテナ貨物を東京貨物ターミナル駅から東北地区の貨物ターミナル駅を経由し、日本海側を含めた納入地に輸送するサービスです。モーダルシフトの促進、また特に冬期には航海が安定した太平洋側の主要港に陸揚げする事で本船遅延リスクを回避し、さらに積雪・路面凍結による陸路輸送の遅延リスクを鉄道輸送で回避する安全・安心な代替輸送として輸送効率の向上が可能です。

当社では現在、東京港において東京2020大会期間中に実施された国際海上コンテナから国内鉄道輸送コンテナへの積み替えによる物流機能（鉄道輸送）強化実証事業に参加し大会期間中の道路通行量削減への協力と輸送能力低下の回避に取り組みました。京浜港の自社倉庫を利用した輸入貨物の保管や、鉄道輸送の定時性と中長距離での高い輸送効率性を活用する事で、トラック輸送と鉄道輸送を組み合わせた最適な輸送方法を選択し、安定性と輸送コスト低減の実現に取り組んでいます。

鉄道輸送はCO₂排出量が最も少ない地球環境にやさしい輸送手段であり、持続可能な開発目標(SDGs)が社会に浸透する中で、今後ますます注目されます。また国内では少子高齢化が進み、2024年には働き方改革関連法の自動車運転業務への適用が開始されることとなり、長距離ドライバー不足がますます深刻になります。慢性的なドライバー不足問題は続くともみられ、国内輸送の安定性を確保するための鉄道利用が重要な輸送手段の一つとなります。

トレーディアは今後も海外ネットワークを駆使した国際物流と輸出入通関、保管、流通加工、輸配送の国内物流を融合させ、より一層お客様ニーズに対応した総合物流サービスの拡充と提供を図ってまいります。

関自貨第571号

認 可 書

トレーディア株式会社

代表取締役社長 古郡 勝英 殿

令和3年6月1日付けで申請のあった第二種貨物利用運送事業（鉄道）の事業計画及び集配事業計画変更は、貨物利用運送事業法第25条第1項の規定に基づき申請のとおり認可する。

令和3年8月18日

関東運輸局長 河 村 俊 信

